

8 学校園施設の充実

①施策の展開	教育環境の充実	課名	教育総務課 施設給食課
②取組概要	<p>学校園施設の耐震補強工事を推進し早期完成をめざすとともに、計画的に施設の改修や普通教室へのエアコン設置を実施する。また、学校園の警備などの安全管理や施設設備に係る保守点検、修理、維持管理を行う。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設耐震化推進事業 (2) 空調設備整備事業 (3) 屋内運動場改修事業 (4) <u>小学校校庭芝生化</u>⁽¹⁵⁾事業 (5) 小中学校・幼稚園施設管理事務 (6) 旧明德小学校跡地関係事務 		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 寝屋川市立学校園施設耐震化推進計画による小中学校の校舎・屋内運動場の耐震補強工事の前倒しを実施する。 (2) 学習環境の向上を図るため小学校の普通教室等にエアコンを設置する。 (3) 清潔でより使いやすくするため計画的に屋内運動場トイレのリニューアルを進める。 (4) 各小学校区の実行委員会が実施する校庭の芝生の維持管理に係る経費への一部補助や作業への支援等により、地域協働による事業をより一層推進する。 (5) 学校の安全を確保するため、小学校には<u>学校安全監視員</u>⁽¹⁶⁾を配置し、小学校、中学校、幼稚園において警備会社における機械警備業務を行い、学校安全の充実に努める。 (6) 公共施設等整備・再編計画に基づき、市長部局等と連携・調整を図り、事務を進める。 		
-------	--	--	--

⑤取組実績

(1) 国の平成 23 年度第 3 次補正予算等を活用し、小学校の校舎棟 9 校 16 棟（内 1 棟は改築事業）、屋内運動場 2 校 2 棟、中学校の校舎棟 5 校 7 棟、屋内運動場 2 校 2 棟の耐震補強工事の前倒しを実施し、平成 24 年度末における耐震化率⁽¹⁷⁾は 84.9%となった。

<学校園施設の耐震化率>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
耐震化率	56.2%	70.3%	84.9%

(2) 国の平成 23 年度第 3 次補正予算等を活用し、小学校 24 校の普通教室、支援教室、音楽室にエアコンを設置した。

(3) 耐震補強工事にあわせて、小学校 2 校、中学校 2 校の屋内運動場トイレのリニューアルを実施した。

(4) 各小学校区の実行委員会に校庭の芝生の維持管理に係る経費の一部を補助するとともに、エアレーション作業等の支援を行うなど、地域協働による円滑な事業実施を推進した。

また、芝生を活用したヒートアイランド現象の緩和と緑化・打ち水等の効果や環境問題を考える機会として、堀溝小学校運動場の芝生化実行委員会、大阪府等と協力し、「クールシティ寝屋川」を実施した。

(5) 小学校において、平成 17 年度から実施していた有人警備委託に変わり、平成 23 年度から学校安全監視業務として、各小学校に学校安全監視員を 1 名常駐配備し、外部からの不審者等に対する安全監視、施設等の監視と児童・教職員の安全管理確保に努めた。また、小学校、中学校、幼稚園において機械警備により施設の安全監視に努めた。

(6) 関係各課と連絡会議を開催するとともに、跡地活用の先進事例（尼崎市）への視察を行い、公共施設等整備・再編計画に基づく取り組みにおける課題抽出、整理等を行った。

	<p>また、UR 都市機構と隣接地の調整として跡地の有効利用について協議を行った。</p>
--	---

<p>⑥評価</p>	<p>(1) 耐震補強工事の前倒しを実施し、耐震化率が前年度 70.3% から 84.9%となり、当初の推進計画以上に耐震化を進め、安全性の確保に努めた。今後、更に設計・工事の前倒しを実施し、耐震化率を平成 25 年度に 100%となるよう事業を推進する。また、引き続き学校施設環境改善交付金等を活用して財源の確保に努める。</p> <p>(2) 学校施設環境改善交付金等を活用して財源の確保に努め、小学校 24 校にエアコンを設置し、生徒の学習環境の向上が図れた。</p> <p>(3) 4 校のトイレをリニューアルし、清潔でより使いやすくなった。引き続き耐震補強工事にあわせて、屋内運動場トイレのリニューアルを実施する。</p> <p>(4) 各小学校区の実行委員会に校庭の芝生の維持管理に係る経費への一部補助やエアレーション作業等への支援などを実施したことによって地域協働による学校環境の整備や地域コミュニケーションの一層の推進が図れている。</p> <p>また、学校や各実行委員会での活用はもとより、「クールシティ寝屋川」の実施によって全小学校に芝生が設置されていることを生かした取り組みも図れている。</p> <p>今後も引き続き、学校、地域での活用、スケールメリットを生かした活用を推進し、芝生をきっかけに、児童、地域、市民がふれあう機会づくりを進めることが重要である。</p> <p>(5) 学校安全監視員の配置及び機械警備により、安全性の確保に努めた。今後も引き続き、学校、地域と連携を図り、手法等工夫する中、安全性を高めていく必要がある。</p> <p>(6) 関係各課との連絡会議や先進事例の視察、UR 都市機構との</p>
------------	--

	<p>協議を行う中で、公共施設等整備・再編計画に基づく取り組みにおける課題抽出、整理等ができたことから、課題解決を図り具体的な活用に向けて、関係機関等との連携のもと、取り組みを進めていく必要がある。</p>
--	---